

第5編 総合戦略・計画の推進

第1章 第2期大洗町まち・ひと・ しごと創生総合戦略

- 第1節 総合戦略の視点
- 第2節 総合戦略の基本目標とパッケージ

第2章 計画の推進

- 第1節 計画の推進体制
- 第2節 KGI・KPIによる評価検証
- 第3節 SDGsの推進

第1章 第2期大洗町まち・ひと・しごと創生総合戦略

第1節 総合戦略の視点

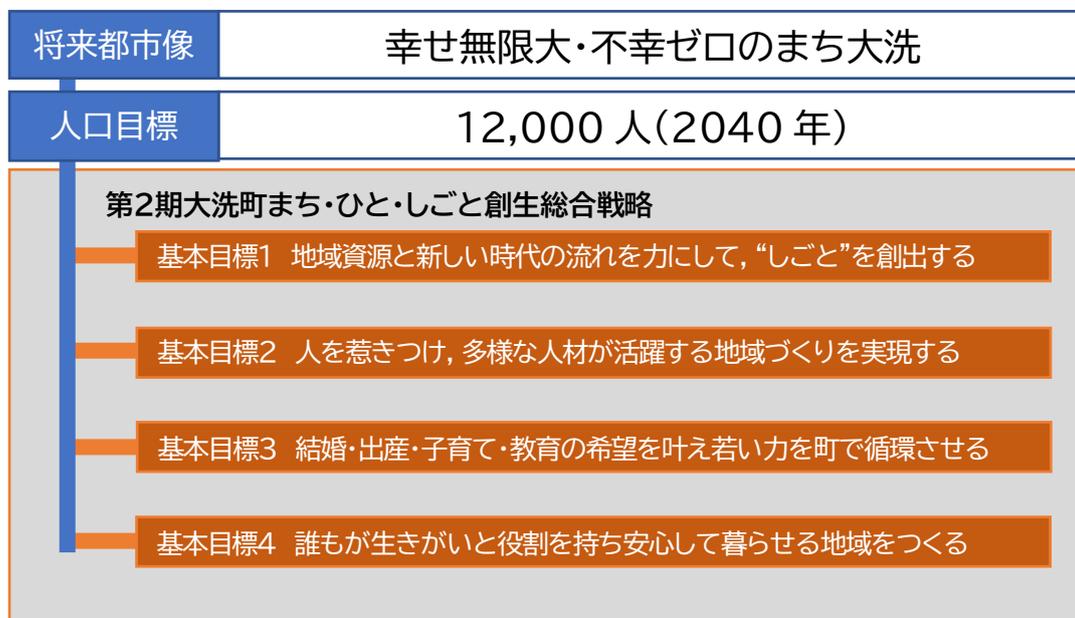
本町においては、平成27年10月に「大洗町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」を策定し、減少する人口をどのように維持するかという人口減少対策や、人口が減少するなかで、町の機能をどのように維持するかという地域の変革に向けた施策に取り組んできました。

しかしながらその間にも、本計画の第2編第1章で示したとおり、想定を上回る勢いで人口減少が進んでおり、現行の総合戦略の取り組みを見直す必要があります。

こうした現状を踏まえ、人口ビジョンで示した2040年の人口目標12,000人の達成と「将来都市像」として位置づけた「幸せ無限大・不幸ゼロのまち大洗」の実現に向けて、第4編までに総合計画として示してきたそれぞれの取り組みのうち、特に重要性が高く数値目標を掲げて推進していく取り組みについて、国が示す「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく4つの基本目標の枠組みの中で体系立てを行い、国・県の地方創生関連施策とタイアップした、より効果的な施策展開を図ってまいります。

4つの基本目標と基本目標ごとのKGI

総合戦略のKGI及びKPIについては、総合計画の施策KGI及びKPIと連動させることで、総合計画と総合戦略を一体的に推進することを図ります。



第2節 総合戦略の基本目標とパッケージ

総合戦略の基本目標とパッケージの内容

基本目標1

地域資源と新しい時代の流れを力にして、“しごと”を創出する

若い世代の転出超過を解消し、「しごと」と「ひと」の好循環を確立するために、雇用の量及び質の向上が求められています。

プロモーションやブランド化と一体となった産業の競争力強化や先端技術による新産業の創出など、雇用を生み出せる力強い地域産業の育成に取り組むことで、賃金ややりがい、労働環境の面からも魅力ある職場づくりを実現し、活気ある大洗の経済を実現します。

パッケージ①	大洗ブランドの確立
パッケージ②	新たな時代の流れを力にした新産業の創出
パッケージ③	雇用の質の向上

基本目標2

人を惹きつけ、多様な人材が活躍する地域づくりを実現する

若い世代への海辺を活かしたライフスタイルの提案や、観光客やアニメファンに対する「おもてなし」、風格ある文化資源を活かした魅力づくりなど、本町が有する地域資源を活用した多様な世代・属性へのプロモーションを促進することで、大洗への人の「流れ」を創出し関係人口や交流人口の増加を図るとともに、大洗町民としてのシビックプライドの醸成を図ります。

また、移住・定住希望者に対する情報発信や支援など、移住・定住施策について取り組むことで、関係人口や交流人口を増加させ、定住人口の増加に繋がります。

パッケージ④	海や観光を中心とした人の流れの創出
パッケージ⑤	歴史文化を中心とした人の流れの創出
パッケージ⑥	移住・定住施策の推進

基本目標3

結婚・出産・子育て・教育の希望を叶え若い力を町で循環させる

希望する人が安心して結婚や出産を実現し、質の高い子育て・教育環境を提供することで、若い世代が安心して希望を持って育ち、若い力が生まれ続ける持続可能な大洗町の実現を図ります。

幼児期の保育・教育環境の整備を通して、現状の待機児童ゼロを維持するとともに、結婚支援や母子保健の取り組みを通して、結婚・出産が希望どおりに安心して行えるまちづくりを推進します。

また、教育の推進にあたっては、知・徳・体が調和した教育を推進し、大洗町への誇りを醸成するとともに、情報化・国際化への対応等、新たな時代で活躍できる素養を持った人財を育成します。

パッケージ⑦	結婚・出産・子育ての支援
パッケージ⑧	大洗の次代をつくる教育の推進

基本目標4

誰もが生きがいと役割を持ち安心して暮らせる地域をつくる

都市基盤の整備にあたっては、将来の人口や都市フレームを想定しながら、コンパクトかつ利便性の高いまちづくりを推進します。また、国土強靱化計画等に基づき、災害に強いまちづくりを推進します。

また、制度の縦割りや狭間を無くした地域包括ケアのもと、誰もが「受け手」「支え手」の関係を超えて生きがいや役割を持ちながら住み慣れた地域で生活できる、地域共生社会の実現に向けた取り組みをあわせて推進することで、安心して暮らせる地域づくりを実現します。

パッケージ⑨	計画的な都市基盤の整備
パッケージ⑩	地域共生社会の実現

総合戦略のパッケージと基本計画重点の対応

総合戦略パッケージ	基本目標1 地域資源と新しい時代の流れを力にして、“しごと”を創出する			基本目標2 人を惹きつけ、多様な人材が活躍する地域づくりを実現する			基本目標3 結婚・出産・子育て・教育の希望を叶え若い力を町で循環させる		基本目標4 誰もが生きがいと役割を持ち安心して暮らせる地域をつくる	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
施策【重点】	大洗ブランドの確立	新たな時代の流れを力にした新産業の創出	雇用の質の向上	海や観光を中心とした人の流れの創出	歴史文化を中心とした人の流れの創出	移住・定住施策の推進	子育ての支援 結婚・出産	大洗の次代をつくる教育の推進	都市基盤の整備 計画的な	地域共生社会の実現
政策1 住民の命と生活を守るまちづくり										
1-1-1	防災意識の高揚と地域防災力の向上								●	
1-1-2	地域特性を踏まえた防火体制の構築								●	
1-2-1	災害に強いライフラインの整備								●	
1-2-3	安全・安心な上下水道サービスの推進								●	
1-3-1	協働による治安対策の推進									●
1-4-4	健康づくりの推進									●
1-4-6	地域医療の充実									●
1-5-4	生活自立の支援									●
1-6-2	障害者理解の促進									●
1-7-1	地域包括ケアシステムの推進									●
1-7-3	介護予防の促進・適切な介護サービスの確保									●
政策2 一人ひとりを大切にするみんなが住みよいまちづくり										
2-1-1	循環型社会の形成								●	
2-2-1	人にやさしいまちづくりの推進					●			●	
2-2-3	交流と移住定住の推進					●	●			
2-3-1	若い世代が安心して就労できる環境づくり		●							
2-3-4	新産業の創出	●								
2-4-1	協働のまちづくりの推進							●		●
2-5-1	情報発信の推進									●

※総合戦略基本目標及びパッケージの内容については、左ページに掲載しています。

総合戦略パッケージ	基本目標1 地域資源と新しい時代の流れを力にして、“しごと”を創出する			基本目標2 人を惹きつけ、多様な人材が活躍する地域づくりを実現する			基本目標3 結婚・出産・子育て・教育の希望を叶え若い力を町で循環させる		基本目標4 誰もが生きがいと役割を持ち安心して暮らせる地域をつくる	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
施策【重点】	大洗ブランドの確立	新たな時代の流れを力にした新産業の創出	雇用の質の向上	海や観光を中心とした人の流れの創出	歴史文化を中心とした人の流れの創出	移住・定住施策の推進	子育ての支援 結婚・出産	大洗の次代をつくる教育の推進	都市基盤の整備 計画的な	地域共生社会の実現
政策3 観光を中心とした共創による儲かる地場産業のまちづくり										
3-1-1	海の多様な利活用の推進			●						
3-1-2	産学官民連携による共創の観光地づくりの推進	●								
3-1-3	地域資源を活かした「食」開発の推進	●								
3-2-1	まちづくりの骨格となる交通ネットワークの充実								●	
3-2-4	公共交通の充実								●	
3-3-1	資源管理型漁業及び栽培漁業の推進		●							
3-3-2	水産物の販売促進・販路拡大	●								
3-4-1	農業生産基盤の充実		●							
3-4-3	地域資源の活用	●								
3-5-1	商店街の特性を活かした賑わい整備	●								
政策4 大洗の未来を担う人財を育てるまちづくり										
4-1-1	保育環境の充実						●			
4-1-4	切れ目のない親と子への健康支援						●			
4-1-5	子育て世帯への支援体制の充実						●			
4-2-2	確かな学力を身につける教育の推進							●		
4-2-5	社会の変化に対応した教育の推進		●					●		
4-3-1	学校・家庭・地域との連携・協働							●		
4-3-4	いじめ・不登校等への対策と安全確保							●		
4-3-5	すべての子ども達への学習機会の確保							●		

総合戦略パッケージ	基本目標1 地域資源と新しい時代の流れを力にして、“しごと”を創出する			基本目標2 人を惹きつけ、多様な人材が活躍する地域づくりを実現する			基本目標3 結婚・出産・子育て・教育の希望を叶え若い力を町で循環させる		基本目標4 誰もが生きがいと役割を持ち安心して暮らせる地域をつくる	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
施策【重点】	大洗ブランドの確立	新たな時代の流れを力にした新産業の創出	雇用の質の向上	海や観光を中心とした人の流れの創出	歴史文化を中心とした人の流れの創出	移住・定住施策の推進	子育ての支援 結婚・出産	大洗の次代をつくる教育の推進	都市基盤の整備 計画的な	地域共生社会の実現
4-4-1 社会教育の推進								●		
4-4-2 青少年の健全育成								●		
4-4-3 スポーツ・レクリエーション活動の推進								●		
4-4-4 指導者・団体の育成, 強化								●		
4-4-5 芸術文化活動の充実					●					
4-4-6 文化団体の活動の推進・支援					●					
4-5-1 史跡磯浜古墳群の整備					●					
4-5-2 大洗遺産の認定					●					
4-5-4 歴史文化の普及					●					
政策5 持続可能な行財政運営によるまちづくり										
5-1-1 効果的な行政運営の推進									●	
5-1-4 財源の確保及び有効活用									●	
5-1-5 将来を見通した計画的な財政運営									●	

※総合戦略基本目標及びパッケージの内容については、前ページに掲載しています。

第2章 計画の推進

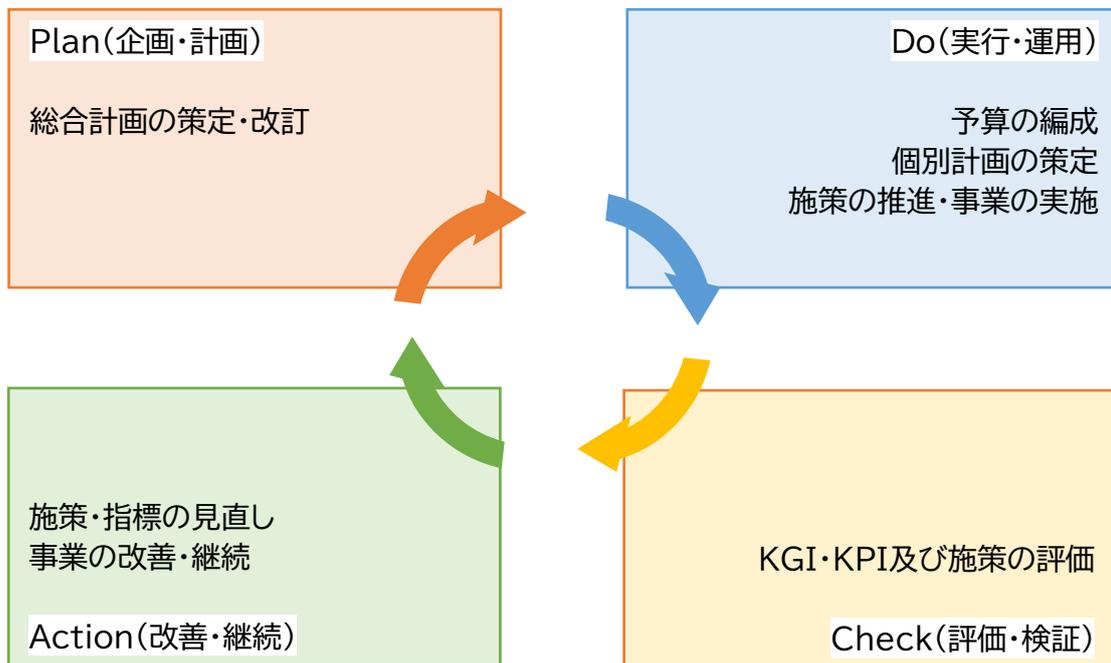
第1節 計画の推進体制

総合計画を着実に推進するため、庁内においては行政を取り巻く課題が相互に関連することを踏まえて部署間での連携を図り、全庁一体となった総合的な施策の構築と展開を図ります。

また、総合計画の推進にあたっては、庁内のみならず町の多様な主体による参画が不可欠なことから、町内の個人・団体等との積極的な協働体制の構築に取り組みます。

総合計画の進行管理にあたっては、KGI及びKPIの達成状況及び、その要因、設定の有意性についてPDCAサイクルを活用しながら進捗を評価することで、データと地域の状況の両方に基づいた検証を実施し取り組みの改善を図ります。

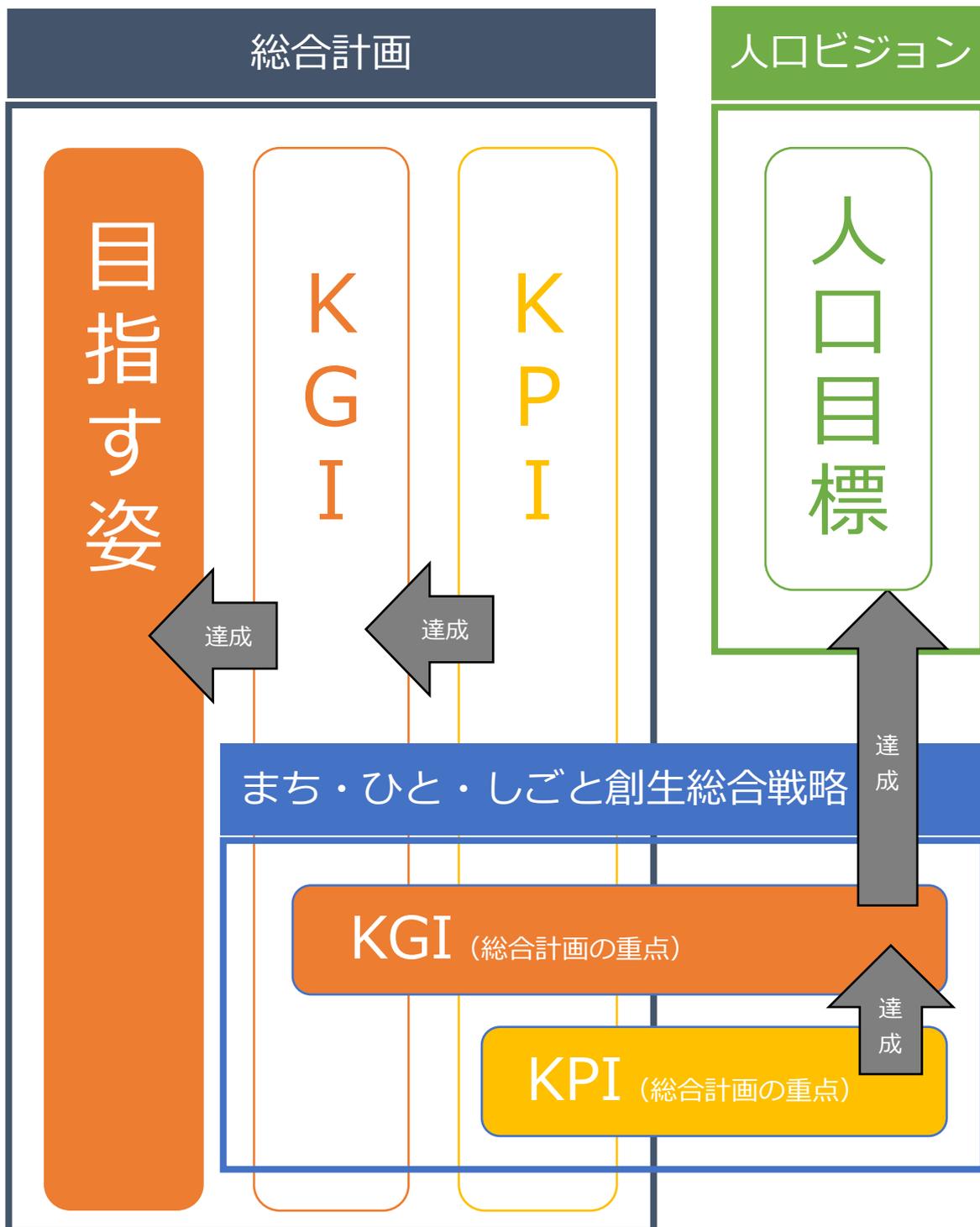
PDCAサイクル



第2節 KGI・KPIによる評価検証

総合計画の策定にあたっては、効果的に各施策を推進するため、施策ごとの「目指す姿」と連動したKGIと、KGIの達成に向けて重点的に取り組むべき取り組みについてのKPIを設定しました。

また、まち・ひと・しごと創生総合戦略においては、人口ビジョンにおいて掲げた人口目標に向けて重点的に取り組むべき総合計画の取り組みをパッケージ化し、総合計画と連動したKGI及びKPIを設定しました。



人口目標とKGIの一覧

設定箇所	種類	設定項目	設定値	
人口ビジョン	人口目標	総人口	12,000人(2040年)	
設定箇所	設定項目		設定値 (R2→R6)	総合戦略
政策1 施策1	地域防災リーダー(防災士)を育成		14人→22人	基本目標 4
	設定理由	自助・共助による災害活動の中心的役割を担う地域防災リーダーを年2名ずつ計22名育成し、自主防災組織強化による早期回復可能なまちづくりの実現を目指す。		
政策1 施策2	舗装維持管理計画に基づく重要道路の修繕延長		0.0km→6.0km	
	設定理由	舗装維持管理計画に基づき、重要道路約7.2kmのうち6.0kmについて更新を進め、事前防災・減災対策の推進による着実な都市基盤づくりの実現を目指す。		
	下水道接続率の向上		68.0%→73.2%	
	設定理由	住民の理解と協力のもと、毎年約1.0%の公共下水道への接続及び未普及地区となっているコミュニティープラントの公共下水道への切替とあわせ、下水道接続率を現状値から5.2%向上させることを目指す。		
政策1 施策3	治安対策の推進 刑法犯認知件数の減少		108件/年→40件/年	
	設定理由	犯罪が起こりにくい安全なまちづくりの実現に向け、地域が一体となった犯罪抑止対策の推進により、40件/年まで刑法犯認知件数を減少させることを目指す。		
政策1 施策4	自立して生活できる年齢(「平均自立期間」)		男性 77.3歳(令和元年度) →78歳 女性 84.1歳(令和元年度) →85歳	
	設定理由	KDBにおける平均自立期間とは日常生活動作が自立している期間であり、平均余命から不健康期間を除いたものを言う。不健康期間を限りなく短くすることで、平均自立期間を国の示す平均余命の数値に近づけることを目指す。		

設定箇所	種類	設定項目	設定値 (R2→R6)	総合戦略
政策1 施策5		地域間の連携を図り「手伝いたい」と思う割合	66.9%→70.0%	基本目標 4
	設定理由	地域の課題解決力を更に向上させるため、誰もが「わがこと」として地域課題を捉える意識の啓発を行い、現状値以上の70%以上を目指す。		
政策1 施策6		障害者等が安心して暮らしやすいと思う割合	73.0%→80.0%	
	設定理由	地域で暮らす障害者の支援体制等の強化を図り、生活満足度を向上させ、現状値以上の80%以上を目指す。		
		障害者等を感じる障害や障害者等への理解度	33.3%→50.0%	
	設定理由	障害者が不安を抱かず、地域に溶け込み生活できていると感じる割合を、現状値以上の過半数以上を目指す。		
政策1 施策7		自分が幸せだと感じる高齢者の割合	86.9%(令和元年度) →90.0%	
	設定理由	地域で暮らす高齢者の支援体制等の強化を図り、生活満足度を向上させ、現状値以上の90%以上を目指す。		
		地元で愛着を感じている高齢者の割合	73.2%(令和元年度) →80.0%	
	設定理由	地元で愛着を感じ、このまま住み続けていきたいと思う高齢者の割合について、現状値以上の80%以上を目指す。		
政策2 施策1		一人当たりのごみ排出量の削減	1,400g/人日 (平成30年度) →1,330g/人日	
	設定理由	大洗町一般廃棄物処理基本計画に基づき、一人当たりのごみ排出量を計画の中間年である令和6年までに5%削減させることを目指す。		
		生活排水処理率の向上	60.3%(平成30年度) →66.3%	
	設定理由	大洗町一般廃棄物処理基本計画に基づき、生活排水処理率を計画の中間年である令和6年までに6ポイント改善させることを目指す。		

設定箇所	設定項目		設定値 (R2→R6)	総合戦略
政策2 施策2	各種施策の効果による、人口動態(社会増減)の改善(令和3～6年度の4年間累計)		-249人(推計値) → -136人	基本目標 2・3・4
	設定理由	「住みたいまち」の実現に向け、子育て世代の流入など社会減の抑制に繋がる施策に取り組み、人口動態(社会増減)について令和6年推計値の-249人から-136人へ改善させることを目指す。		
政策2 施策3	各種施策の効果による、25～29歳の人口動態(社会増減)の改善(令和3～6年度の4年間累計)		-22人(推計値) → +50人	基本目標 1
	設定理由	課題である20歳代後半の転出超過を抑える就労支援等の施策を重点的に取り組み、25～29歳の人口動態(社会増減)について令和6年推計値の-22人から50人へ改善させることを目指す。		
政策2 施策4	地域住民や地元企業などとの意見交換の場の創設		新規設定 →毎年度実施	基本目標 3・4
	設定理由	地域やまちづくりの課題解決を目指す場を新たに創設し、更なる産官民の連携強化を目指す。		
政策2 施策5	必要な情報が得られていると思う住民の割合		新規設定→100.0%	基本目標 4
	設定理由	町の情報発信に対し、すべての住民が必要な情報を得られていると感じることを目指す。		
	自分たちの意見が行政に届きやすいと感じる住民の割合		新規設定→50.0%	
	設定理由	少なくとも過半数の住民が、自らの意見が届きやすいと感じることを目指す。		

設定箇所	設定項目		設定値 (R2→R6)	総合戦略
政策3 施策1	観光入込客数		430万人(令和元年) →450万人	基本目標 1・2
	設定理由	東日本大震災以降大きく減少した観光客が回復していないという課題解決のため、海を利用したイベントの開催や道の駅整備等により、20万人の増加を目指す。		
	観光消費額(宿泊)		25,000円/人 (令和元年) →27,500円/人	
	設定理由	本県の観光消費額は他県に比べて低いという課題解決のため、観光コンテンツの造成や「食」の開発等により10%の向上を目指す。		
政策3 施策2	地域ブランド調査の魅力度ランキングにおける魅力度の点数		7.6ポイント (令和元年度) →8.6ポイント	基本目標 4
	設定理由	適切な都市基盤の整備による魅力あるまちづくりに資する施策に取り組み、本調査における1,000市区町村の過去3か年平均値である8.6ポイントを目指す。		
政策3 施策3	大洗町地方卸売市場水揚数量		1,481t→1,481t (現状維持)	基本目標 1
	設定理由	高齢化や後継者不足により、今後10年間で約25%の漁業者の減少が予想されているが、資源管理漁業や栽培漁業、設備導入支援を行うことにより水揚数量を維持する。		
	大洗町地方卸売市場水揚高		509百万円 →509百万円 (現状維持)	
	設定理由	高齢化や後継者不足により、今後10年間で約25%の漁業者の減少が予想されているが、水産物の品質向上やPRを図り、魚価を向上させ水揚高を維持する。		

設定箇所	設定項目	設定値 (R2→R6)	総合戦略
政策3 施策4	農業産出額	195 千万円 →195 千万円 (現状維持)	基本目標 1
	設定理由	高齢化や後継者不足により、今後、農業者の大幅な減少が予想されているが、農業生産性の向上を図ることにより農業産出額を維持する。	
	担い手への農地利用集積面積	269ha→285ha	
	設定理由	農業生産性の向上や担い手の維持・確保のため、基盤整備に取り組むことで、担い手への農地利用集積面積の拡大を目指す。	
政策3 施策5	町内事業者数 創業≧廃業を実現することで町内事業者数の維持	587 事業者 →587 事業者 (現状維持) (商工会会員数)	基本目標 3
	設定理由	商店街等の環境整備や各種支援、情報発信を1つのサイクルとして展開することにより、創業≧廃業を実現し、町内事業者数(商工会会員数)の維持を目指す。	
政策4 施策1	町内の保育環境に対する満足度	44.3%→50.0%	基本目標 3
	設定理由	多様な保育ニーズに対応し、安心して子どもを預けられる環境であると思ってもらえる割合について、現状値以上の過半数以上を目指す。	
	子育て世帯への支援体制の充実に対する満足度	65.1%→70.0%	
	設定理由	町内で子育てをする世帯に寄り添った支援体制の充実を図り、満足度を現状値以上の70%以上を目指す。	
	大洗町で、今後も子育てをしていきたいと思う方の割合	62.7%→90.0%	
設定理由	子育て支援サービスの充実を図ることで、転出せずにその地域で引き続き子育てをしていきたいと思う割合について、国の目標値に近づけることを目指す。		

設定箇所	設定項目	設定値 (R2→R6)	総合戦略
政策4 施策2	学校が楽しいと感じる児童生徒の割合	小学校 96.5%(令和元年度) →97.0% 中学校 81.1%(令和元年度) →85.0%	基本目標 1・3
	設定理由	子ども達がたくましく、よりよく生きる力を身に付けるために学校教育に寄せられる期待は大きく、学びの拠点となる学校生活の充実がその根幹にある。数値については国と比較しても同等以上であり、現状値以上を目指す。	
	夢や目標に向かって努力している児童生徒の割合	小学校 88.0%(令和元年度) →90.0% 中学校 77.2%(令和元年度) →80.0%	
	設定理由	子ども達一人ひとりが、将来を見据えて自己の進路決定と実現が出来る資質・能力を身に付けることが大切である。数値については、国と比較しても高いため現状値以上を目指す。	
政策4 施策3	安心して子どもを育てられる環境が整っていると 思う保護者の割合	89.0%→90.0%	基本目標 3
	設定理由	児童生徒にとって安心・安全な教育環境となっているかどうかを判断するにあたり、保護者や地域の方々の評価を現状値以上へと向上させることを目指す。	
	既存組織の再編による学校運営協議会の設置	4校→4校	
	設定理由	地域との既存の協力体制を活かしつつ、コミュニティスクール導入の実現を目指す。	

設定箇所	設定項目	設定値 (R2→R6)	総合戦略
政策4 施策4	社会教育の推進に対する住民満足度	21.2%→42.0%	基本目標 2・3
	設定理由	公民館講座等を通し幅広い年代に生涯学習を推進することで、住民の生活満足度の向上を図り、現状値の約2倍に向上させることを目指す。	
	成人の週1日以上スポーツ実施率	45.4%→55.0%	
	設定理由	幅広くスポーツの振興を図るとともに、スポーツをする機会の少ない成人に対し、スポーツを推進していき、健康な体づくりに繋がられるよう、現状値から約10ポイント向上させることを目指す。	
	芸術文化の振興に対する住民満足度	19.6%→40.0%	
	設定理由	住民の生きがいづくりに繋がる様々な芸術文化事業の実施により、満足度について現状値の約2倍に向上させることを目指す。	
政策4 施策5	磯浜古墳群の国指定数量	3基(日下ヶ塚・車塚・姫塚古墳)→4基(+坊主山古墳)	基本目標 2
	設定理由	大洗の大切な歴史遺産である磯浜古墳群は、現在3基が国の史跡として指定をされているが、更に1基の追加指定を目指す。	
政策5 施策1	実質公債費比率(健全化判断比率)	6.5%→6.5%以内	基本目標 4
	設定理由	全国平均より良好な値で推移しているが近年上昇傾向にあるため、現状値以内を目標とする。	
	将来負担比率(健全化判断比率)	96.6% →96.6%以内	
	設定理由	全国平均を上回っており、近年更なる上昇傾向にあるため、現状値以内を目標とする。	

第3節 SDGsの推進

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年(平成27年)の国連サミットで採択された2030年(令和12年)までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットで構成されており、国においても毎年アクションプランが策定されるなど、積極的な推進が図られています。

大洗町総合計画では、持続可能な開発目標(SDGs)との関連性を図りながら、政策や施策に取り組んでいきます。



大洗町総合計画の政策・施策と17のゴールの関連

政策・施策	17のゴール				
	目標1 	目標2 	目標3 	目標4 	目標5 
政策1 住民の命と生活を守るまちづくり					
施策1 総合的な防災減災対策の推進					
施策2 安全に暮らせる都市基盤の推進					
施策3 安心して暮らせるまちづくりの推進					
施策4 健康・医療の充実			●		
施策5 地域福祉の推進	●		●		
施策6 障害者福祉の充実			●		
施策7 高齢者支援の充実			●		
政策2 一人ひとりを大切にみんなが住みよいまちづくり					
施策1 自然と共生する循環型社会の形成					
施策2 誰もが暮らしやすいまちづくりの推進					
施策3 雇用の安定確保と地域特性を活かした新産業の創出					
施策4 みんなでつくるまちづくりの推進					●
施策5 情報共有化の推進					
政策3 観光を中心とした共創による儲かる地場産業のまちづくり					
施策1 観光の振興					
施策2 観光を中心としたまちづくりの推進					
施策3 水産業の振興		●			
施策4 農業の振興		●			
施策5 商工業の振興					
政策4 大洗の未来を担う人財を育てるまちづくり					
施策1 幼児期の教育・保育の推進	●		●	●	
施策2 知・徳・体が調和した特色ある教育の推進				●	
施策3 学校・家庭・地域の連携と協働による安心して学べる環境の整備				●	
施策4 生涯学習活動の推進				●	
施策5 歴史資源の保存と活用					
政策5 持続可能な行財政運営によるまちづくり					
施策1 行財政運営の適正化					

目標6	目標7	目標8	目標9	目標10	目標11	目標12	目標13	目標14	目標15	目標16	目標17
					●						
●					●						
										●	●
											●
	●					●	●	●	●		
					●						
		●	●								
				●							●
										●	●
		●	●								
					●						
		●						●			
		●							●		
		●	●								
					●						
					●						●

※SDGs の 17 のゴールの内容については、次ページに掲載しています。

SDGs の 17 のゴールとその内容

SDGs 17 のゴール	内容
目標1(貧困をなくそう)	 あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ
目標2(飢餓をゼロに)	 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する
目標3(すべての人に健康と福祉を)	 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する
目標4(質の高い教育をみんなに)	 すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
目標5(ジェンダー平等を実現しよう)	 ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る
目標6(安全な水とトイレを世界中に)	 すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する
目標7(エネルギーをみんなにそしてクリーンに)	 すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する
目標8(働きがいも経済成長も)	 すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する
目標9(産業と技術革新の基盤をつくろう)	 強靭なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る
目標10(人や国の不平等をなくそう)	 国内および国家間の格差を是正する
目標11(住み続けられるまちづくりを)	 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする
目標12(つくる責任つかう責任)	 持続可能な消費と生産のパターンを確保する
目標13(気象変動に具体的な対策を)	 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
目標14(海の豊かさを守ろう)	 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する
目標15(陸の豊かさを守ろう)	 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る
目標16(平和と公正をすべての人に)	 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する
目標17(パートナーシップで目標を達成しよう)	 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する